

2年保健 TOPIC READING③

若者の性と保健行動および予防介入についての考察

池上千寿子氏 日本エイズ学会誌5 (1)、48-54 2003

若者における HIV/STD 感染の予防がエイズ対策の緊急課題のひとつであることは論をまたないであろう。WHO は2001年にセクシュアリティに関して25年ぶりに勧告書を交付し「包括的な性教育をすべての人に提供すること」が重要であることを強調し若者の性感染予防の促進には、正しい知識の提供ばかりでなく、予防行動を実践するための支援、セクシュアル・ヘルスの促進が肝要であることを指摘している¹⁾。そこで本稿では、日本の若者の性と保健行動（避妊や感染予防行動）の現状と課題を整理し若者の性意識や態度に影響を与えられるメディア等の発信する性的態度を検証し、若者に対する可能なかつ効果的な予防介入について考察してみたい。